



2024年 6月 6日
第194号

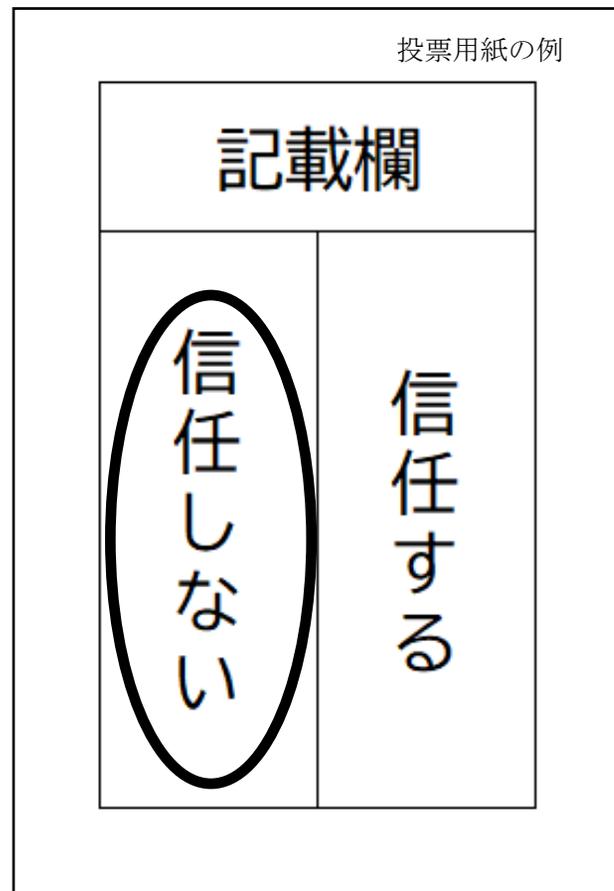
JR 東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本
発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ
<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



信任投票の投票方

川崎統括センターにおける欺瞞に満ち溢れた信任投票のやりかたですが、これまでの過半数代表選挙でおこなわれた信任投票になれば、投票用紙の「信任する」「信任しない」のどちらかに○をつけるかたちになるはずで、それ以外の記載があれば「信任する」と見なされる可能性があります。実際に投票するとき、掲示や、投票用紙に記載されていると思われる、注意事項をよく読んで投票してください。



投票用紙には記載欄の下に「信任する」「信任しない」の文字が書かれています。

候補者が過半数代表者となることを信任しないときは、欄内の「信任しない」の文字を○の記号で囲む。

○以外を書くと、信任と見なされる可能性があります。
(おそらく注意書きに記載されている)

投票ゼロ人で信任される

会社掲示には、『無記入の場合や投票を棄権した場合は「信任する」として投票したこととみなします。』と書かれています。投票しなければ信任になるので、最終日で投票率が49.9%以下であれば、開票しなくても当選確実です。誰も投票しなくても過半数の信任を得られる、候補者の怠惰な選挙運動でも信任を得られる制度となっていますので、しっかり投票に行き、「信任しない」の文字列に○をつけて投票箱に入れましょう。

その昔、総選挙投票直前の演説で「無党派は寝ていてくれればいい」と発言して大鬣だいひんしゆくを買って、与党の票を大きく落とした内閣総理大臣がいました。同じように、ましてや意味のよくわからない選挙が、要請を無視して強行され、やる意味がわからないから棄権すれば全自動で信任票とされるのであれば、社員の皆さんがバカにされています。このような横暴なやり方を許さないためにも、自らの意志で「信任しない」に○をつけて投票箱に入れましょう。



会社は社員をバカにするのもいい加減にしろ!!! 社員は自ら意志を示そう!!!